

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス

コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,290	8.9	137	255.1	126	330.6	53	—
23年3月期第1四半期	3,939	△3.2	38	△72.2	29	△78.0	△1	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 67百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.21	—
23年3月期第1四半期	△0.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,869	6,290	48.9
23年3月期	12,469	6,310	50.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,290百万円 23年3月期 6,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,200	3.1	170	26.0	140	18.1	60	50.7	10.30
通期	17,500	4.7	475	9.9	410	5.3	205	18.8	35.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	7,262,020 株	23年3月期	7,262,020 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,438,491 株	23年3月期	1,438,491 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	5,823,529 株	23年3月期1Q	5,823,529 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、経済情勢、市場動向等に係わるリスクや不確実性により、実際の業績はこれら予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生以降、弱い動きを見せていた個人消費や設備投資などに改善の兆しが見られるようになったものの、円高、デフレ局面、雇用情勢の悪化、海外景気の下振れ懸念に加え、電力供給の制約や原油高などの影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、顧客企業のダイレクトメール・販売促進企画や業務委託先の見直しが行われるなど厳しい環境となりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたメーリングサービス業務の内製化を推進し、周辺業務領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、42億90百万円（前年同期比3億50百万円増）となりました。連結営業利益は、操業度向上による売上総利益率のアップに加えて、販売管理費が前年同期に比べて31百万円減少した結果、1億37百万円（同98百万円増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が10百万円（同384千円増）、営業外費用が20百万円（同1百万円増）となった結果、1億26百万円（同97百万円増）となりました。連結四半期純利益は、投資有価証券評価損27百万円を特別損失として計上し、さらに税金費用を45百万円としたことにより53百万円（前年同期連結四半期純損失1百万円）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、顧客企業における業務委託先の見直しに伴う引合い案件や震災の影響で延期されていた販促活動の再開需要を順調に取り込めたため、売上高は39億91百万円（同10.0%増）、セグメント利益は2億72百万円（同37.6%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は2億49百万円（同14.4%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力しましたが、東日本大震災の影響により予定しておりましたイベントが中止や縮小となったことなどにより、売上高は39百万円（同53.6%減）、セグメント損失は4百万円（前年同期セグメント損失1百万円）となりました。

④賃貸部門

昨年12月に竣工した千代田小川町クロスビル（東京都千代田区）のテナント契約状況は、当第1四半期に入って一部成約したものの全室の成約に至らず、売上高は5百万円、セグメント損失は11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が2億66百万円、売上債権が91百万円、仕掛品が2億30百万円増加したことにより、全体として49億3百万円（前連結会計年度末比5億円増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産および無形固定資産が81百万円減少したことにより、全体として79億48百万円（同99百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、128億69百万円（同4億円増）となりました。

②負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が2億51百万円、賞与引当金が1億14百万円、前受金が52百万円増加したことにより、全体として32億68百万円（同4億95百万円増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が22百万円、長期借入金が83百万円減少したことにより、全体として33億10百万円（同75百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、65億78百万円（同4億20百万円増）となりました。

③純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益53百万円から配当87百万円を差し引いた33百万円が前連結会計年度末に比べて減少となりました。そのほかその他有価証券評価差額金が13百万円増加（税効果分は除く）したことにより、全体として62億90百万円（同19百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月17日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,640	1,520,141
受取手形及び売掛金	2,420,128	2,511,505
仕掛品	242,550	472,769
立替郵送料	83,061	112,998
繰延税金資産	187,658	143,228
その他	216,276	142,893
貸倒引当金	△261	△273
流動資産合計	4,403,054	4,903,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,104,315	3,072,453
機械装置及び運搬具（純額）	307,390	271,437
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産（純額）	8,047	6,081
その他（純額）	79,576	72,056
有形固定資産合計	6,329,431	6,252,129
無形固定資産		
投資その他の資産	38,874	34,491
投資有価証券	394,070	390,089
投資不動産（純額）	1,043,499	1,033,506
繰延税金資産	8,500	4,020
その他	241,293	242,221
貸倒引当金	△8,184	△8,069
投資その他の資産合計	1,679,178	1,661,768
固定資産合計	8,047,484	7,948,390
繰延資産		
社債発行費	18,532	17,750
繰延資産合計	18,532	17,750
資産合計	12,469,071	12,869,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,606,609	1,858,227
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	510,656
リース債務	6,661	2,817
未払法人税等	18,655	9,098
賞与引当金	219,555	334,056
その他	305,137	463,093
流動負債合計	2,772,426	3,268,099
固定負債		
社債	702,850	680,275
長期借入金	2,233,358	2,149,444
リース債務	4,264	3,637
退職給付引当金	344,709	347,950
役員退職慰労引当金	63,790	63,266
繰延税金負債	1,544	6,514
再評価に係る繰延税金負債	24,355	24,355
その他	11,160	35,160
固定負債合計	3,386,033	3,310,604
負債合計	6,158,460	6,578,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,168,210	5,134,507
自己株式	△582,552	△582,552
株主資本合計	7,146,473	7,112,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,446	△1,655
土地再評価差額金	△820,415	△820,415
その他の包括利益累計額合計	△835,862	△822,071
純資産合計	6,310,611	6,290,699
負債純資産合計	12,469,071	12,869,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,939,937	4,290,577
売上原価	3,548,246	3,831,616
売上総利益	391,691	458,960
販売費及び一般管理費	352,952	321,397
営業利益	38,738	137,563
営業外収益		
受取利息	117	71
受取配当金	4,713	6,084
雑収入	4,832	3,892
営業外収益合計	9,663	10,047
営業外費用		
支払利息	12,280	20,256
貸倒引当金繰入額	4,731	—
その他	1,976	702
営業外費用合計	18,988	20,958
経常利益	29,413	126,653
特別損失		
固定資産除却損	25	12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,708	—
投資有価証券評価損	—	27,221
特別損失合計	19,733	27,234
税金等調整前四半期純利益	9,679	99,418
法人税、住民税及び事業税	1,356	1,338
法人税等調整額	10,177	44,429
法人税等合計	11,533	45,768
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,854	53,650

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,854	53,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,687	13,790
その他の包括利益合計	△27,687	13,790
四半期包括利益	△29,541	67,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,541	67,441

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールスプ ロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,629,118	218,040	85,952	3,342	3,936,453	3,483	3,939,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	1,297	—	—	1,303	124	1,427
計	3,629,124	219,338	85,952	3,342	3,937,757	3,608	3,941,365
セグメント利益又は損 失(△)	198,282	△2,159	△1,681	1,555	195,997	830	196,827

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	195,997
「その他」の区分の利益	830
セグメント間取引消去	△1,427
全社費用(注)	△156,666
棚卸資産の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	38,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールスプ ロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,991,876	249,431	39,812	5,160	4,286,279	4,297	4,290,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	377	1,217	—	—	1,595	30	1,625
計	3,992,253	250,648	39,812	5,160	4,287,875	4,327	4,292,202
セグメント利益又は損 失(△)	272,736	16,881	△4,608	△11,126	273,882	744	274,627

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,882
「その他」の区分の利益	744
セグメント間取引消去	△1,625
全社費用(注)	△135,439
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	137,563

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。